

## 『日々新たな恵み』 コリント人への手紙第二4章15～18節 2016.4.3(礼拝説教より)

『ですから、私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。』

Ⅱコリント 4:16

◆パウロは『外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされている(16節)』と言う。土の器である私たちの心や身体は、弱く、脆く、傷つきやすく、衰えていく。しかしキリストを信じた者の内側には、日々新しくされていく部分がある。それは、内におられるキリストご自身のことであり、この方を通して、私たちの内側に、測り知れない神の力が日々新しくされる…という。

◆『この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていない…(使徒 4:12)』とあるように、キリストを信じる私たちは、この世で直面する様々な問題から「救っていただけ」を知っていることが何より重要！あらゆる試練の中に救いがあると知れば、感謝が生まれる！人生には、神にしか負えない重荷があり、神にしか解決できない問題がある。しかし人は、例えば不治の病の苦しみ、壊れた人間関係の修復、決して変えられない過去の出来事や人の心…等々、全部自分で背負い込んで苦しみ、悲鳴をあげる。私たちの罪も重荷も、呪いも病も…全て身代りに背負い、十字架に架かり、復活された主イエスが、死も呪いも骨抜きにされた(イザヤ 53:5)！この、目には見えないお方を信頼して生きる時、私たちは神の栄光(人には出来ないことが神には出来る)を見る！

◆『私たちは見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くから…(18節)』。目の前の苦しみ悩みは長続きせず、やがて消え去るもの！むしろ、今は目に見えないけど、天にある永遠に続く喜びを仰ぎつつ地上の生涯を駆け抜けてゆける！これこそ真の信仰者の姿！「あのことさえなければ」と悔やみ恨む人生ではなく、「あの惨めで屈辱的な出来事のお蔭で、本気で主を求め、全くキリストに明け渡し、心から信じる者になれた！」という希望に輝く人生へ。最悪の中でも変わらない愛で守り、助けてくださる真実な神と共に歩む人生へと変えていただける。

★今週も、あらゆる不安、悩み、試練の中で、朝毎に新しく神の愛に支えられ、確信し、毎朝『主よ、今日も共に！』と信頼と安心を新たにされつつ歩みたい！